

IX 付 録

1 組合設立までのあらまし

年	月	概 要
昭和43年	7月	一部事務組合による常備消防設置について、加治木町から提案されたが、時期尚早で立ち消えとなる
昭和45年	5月	交通事故の増加により、加治木町、始良町、蒲生町及び溝辺町の町長間で常備消防設置について検討が始まる
昭和45年10月		常備消防設置に関する正式協議が開催される
昭和45年11月		常備消防設置準備会議が開催される
昭和45年12月		組合設立委員会発足
昭和46年	1月	組合設立委員会において組合設立についての原案作成が完了する
昭和46年	3月	蒲生町議会可決を最後に4町とも可決し、組合設立が正式に決定し、組合設立許可申請を鹿児島県に提出
昭和46年	4月	組合設立について鹿児島県知事の許可を受ける

2 消防本部・署の沿革（始良郡西部消防組合消防本部）

年	月	日	概 要
昭和46年	4月	1日	初代管理者兼初代消防長に曾木隆輝加治木町長就任 消防吏員5人採用
昭和46年	5月	1日	加治木町役場に消防本部を置き消防吏員1人加治木町から出向
昭和46年	8月	18日	日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける
昭和46年10月	1日		事務吏員1人始良町から出向、消防吏員32人採用
昭和47年	2月	29日	消防無線基地局1、移動局3を設置
昭和47年	3月	23日	ジープ型消防ポンプ自動車3台を購入
昭和47年	4月	1日	消防本部、消防署設置の政令指定を受ける 第2代消防長に下猶篤男就任 仮設の本部、署1、分遣所2、消防ポンプ車3台、救急車1台にて消防業務の実働を始める 消防吏員8人採用、1人加治木町から出向
昭和47年	4月	18日	指令車購入（救急車の兼用可）
昭和47年	5月	31日	蒲生分遣所庁舎完成
昭和47年	6月	20日	加治木町大英建設から救急車（トヨタハイエース）1台の寄贈を受ける
昭和47年	7月	12日	消防無線移動局3局増設
昭和47年	8月	10日	消防本部・消防署庁舎落成
昭和47年	9月	15日	溝辺分遣所庁舎落成
昭和47年12月	18日		水槽付消防ポンプ車（いすゞ・ガソリン車）1台購入し本署に配置 事務吏員女性1人採用
昭和48年	2月	1日	生命保険協会から救急車1台寄贈を受ける
昭和48年	3月	9日	消防吏員8人採用
昭和48年	4月	1日	消防無線移動局（携帯用）3局購入

年	月	日	概 要
昭和48年	6月	25日	日本道路公団から救急車（消防無線付）2台寄贈を受ける
昭和48年	12月	18日	消防無線移動局2局購入
昭和48年	12月	26日	水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する
昭和49年	3月	19日	消防無線基地局（蒲生・溝辺分遣所）2局増設
昭和49年	9月	2日	消防無線移動局（携帯用）4局購入
昭和49年	11月	10日	初代管理者曾木隆輝加治木町長退任
昭和49年	12月	9日	第2代管理者に東國男加治木町長就任
昭和49年	12月	11日	第2代消防長下猶篤男退任
昭和49年	12月	31日	第3代消防長に坂元満男消防長就任
昭和50年	1月	1日	日本消防協会から広報車1台寄贈を受ける
昭和52年	7月	5日	第3代消防長坂元満男退任
昭和53年	3月	31日	第4代消防長に右田光男就任
昭和53年	4月	1日	消防吏員10人採用
昭和53年	10月	1日	消防吏員9人採用 溝辺分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和54年	4月	16日	会計事務職員1人採用
昭和55年	3月	1日	小型ポンプ付積載車1台購入し本署に配置する
昭和55年	3月	31日	消防無線移動局・携帯局各1台購入
昭和55年	11月	26日	スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和56年	3月	20日	小型ポンプ付積載車1台購入し蒲生分遣所に配置する
昭和56年	6月	9日	救助用訓練塔（7m）本署に設置
昭和56年	7月	9日	消防無線携帯局1局購入し蒲生分遣所に配備する
昭和56年	12月	28日	小型ポンプ付積載車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和57年	10月	1日	蒲生分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和57年	12月	3日	消防無線移動局2局増設し消防本部及び本署に配備する
昭和57年	12月	6日	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年	1月	25日	水槽付消防ポンプ車1台購入し蒲生分遣所に配置する
昭和58年	7月	31日	第4代消防長右田光男退任
昭和58年	8月	1日	第5代消防長に村岡創造就任
昭和58年	11月	29日	スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年	12月	27日	水槽付消防ポンプ車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和59年	2月	20日	消防無線携帯局3局増設し本署及び蒲生分遣所に配備する
昭和59年	12月	6日	徳重ガラス店から救急車1台の寄贈を受け蒲生分遣所に配置する
昭和60年	2月	26日	竹下喜久子氏から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和60年	3月	1日	救助用訓練塔溝辺分遣所に設置
昭和60年	3月	18日	救助工作車1台を購入し本署に配置する
昭和60年	3月	30日	消防無線携帯局2局増設し本署に配備する
昭和60年	5月	20日	鹿児島県安全運転管理協議会より優良事業所表彰を受ける
昭和61年	4月	28日	山下為美氏から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和61年	6月	1日	消防吏員1人採用（中途退職補充）

年	月	日	概 要
昭和 6 1 年	7 月	1 8 日	始良郡西部地区危険物安全協会設立
昭和 6 1 年	1 2 月	9 日	第 2 代管理者東國男加治木町長退任
昭和 6 1 年	1 2 月	1 5 日	第 3 代管理者に西野繁始良町長就任
昭和 6 1 年	1 2 月	3 1 日	第 5 代消防長村岡創造退任（始良町へ転出）
昭和 6 2 年	1 月	1 日	第 6 代消防長に木場政昭就任
昭和 6 2 年	3 月	3 1 日	第 6 代消防長木場政昭退任 消防無線携帯局 2 局増設し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
昭和 6 2 年	4 月	1 日	第 7 代消防長に迫屋清治就任 消防吏員 2 人採用（退職補充）
昭和 6 3 年	3 月	8 日	水槽付消防ポンプ車 1 台購入し本署に配置する 消防無線固定局 1 局・基地局 1 局予備を増設し本署に配備する
昭和 6 3 年	3 月	2 8 日	消防無線携帯局 2 局更新し本署及び溝辺分遣所に配備する
昭和 6 3 年	7 月	2 0 日	始良郡西部地区防火管理者等協議会設立
平成 元年	3 月	2 3 日	消防ポンプ車 1 台購入し本署に配置する 蒲生分遣所救助用訓練塔及び消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成 元年	3 月	3 1 日	消防無線移動局 2 局（10w）更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の小型ポンプ付積載車に配備する
平成 元年	4 月	1 日	消防吏員 1 人採用（退職補充）
平成 2 年	2 月	1 日	川田スミ氏からレスキューツール（救助資機材）一式寄贈を受け救助工作車に配備する
平成 2 年	3 月	7 日	小型ポンプ付積載車 1 台を購入し本署に配置する
平成 2 年	3 月	3 1 日	第 7 代消防長迫屋清治退任
平成 2 年	4 月	1 日	第 8 代消防長に雨乞信就任 消防吏員 1 人採用（退職補充）
平成 3 年	1 月	2 2 日	第 3 代管理者西野繁始良町長退任
平成 3 年	1 月	3 1 日	第 4 代管理者に櫛山和實始良町長就任
平成 3 年	4 月	1 日	消防無線移動局 2 局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の水槽付消防ポンプ車に配備する
平成 3 年	5 月	1 日	本署救助用訓練塔（更新）完成
平成 3 年	1 1 月	1 3 日	始良郡西部消防組合創立 2 0 周年記念式典
平成 4 年	1 月	1 0 日	小型ポンプ付積載車 1 台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成 4 年	3 月	3 0 日	溝辺分遣所消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成 4 年	4 月	1 日	消防吏員 1 人採用（退職補充） 鹿児島県消防相互応援協定覚書締結
平成 4 年	8 月	2 8 日	組合規約第 1 0 条関係変更届出
平成 4 年	1 2 月	2 5 日	消防職員定数条例改正（職員定数 8 1 人）
平成 5 年	1 月	2 0 日	溝辺分遣所救助用訓練塔完成（更新）
平成 5 年	2 月	3 日	小型ポンプ付積載車 1 台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成 5 年	2 月	2 5 日	日本自動車工業会から救急車 1 台の寄贈を受け本署に配置する
平成 5 年	4 月	1 日	消防吏員 5 人採用（退職補充 1 人、新規採用 4 人）

年	月	日	概 要
平成	5年	5月26日	鹿児島郡吉田町から消防組合加入の要望書が提出される
平成	5年	6月5日	消防無線移動局2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
平成	5年	8月23日	日本消防協会から指令車1台の寄贈を受け消防本部警防課に配置する
平成	5年	9月7日	消防組合臨時議会（鹿児島郡吉田町の消防組合加入について議決）
平成	5年	10月18日	消防職員定数条例改正（職員定数107人）
平成	5年	10月25日	鹿児島郡吉田町の消防組合加入に関する協議書覚書調印
平成	6年	3月1日	消防無線移動局2局更新し本署に配備する
平成	6年	3月18日	広報車1台更新し消防本部総務課に配置する
平成	6年	4月1日	鹿児島県知事から消防組規約変更許可（鹿児島郡吉田町の消防組合加入） 消防吏員24人採用（鹿児島郡吉田町加入による増員20人、条例改正による増員4人） 水槽付消防ポンプ車1台、小型ポンプ付積載車1台、救急車1台、消防無線基地局1局、移動局3局、携帯局4局購入し吉田分遣所に配備する
平成	6年	9月29日	吉田分遣所落成式典
平成	6年	9月30日	救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成	6年	10月1日	吉田分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置）
平成	6年	12月26日	本署消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成	7年	1月27日	第4代管理者櫟山和實始良町長再任
平成	7年	3月29日	吉田分遣所ロープ渡過施設完成
平成	7年	4月1日	消防吏員3人採用（退職補充1人、条例改正による増員2人）
平成	7年	6月22日	小型動力ポンプ1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成	7年	7月17日	救急車1台、消防無線移動局1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成	7年	8月8日	消防無線携帯局2局更新し本署及び蒲生分遣所に配置する
平成	7年	12月22日	消防無線基地局1局更新し蒲生分遣所に配置する
平成	8年	2月6日	消防無線基地局1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成	8年	4月1日	消防吏員2人採用（退職補充2人）
平成	8年	8月5日	消防職員定数条例改正（職員定数118人）
平成	8年	8月8日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び蒲生分遣所1局配置する
平成	8年	11月25日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し蒲生分遣所に配置する 消防無線基地局1局更新し本署に配置する
平成	9年	3月31日	第8代消防長雨乞信退任
平成	9年	4月1日	第9代消防長に猶木龍美就任 消防吏員12人採用（退職補充1人、条例改正による増員11人） 消防吏員1人中途退職
平成	9年	11月19日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成	10年	3月23日	小型ポンプ付積載車1台を購入し始良分遣所に配置する
平成	10年	3月27日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び溝辺分遣所1局配置する

年	月	日	概 要
平成10年	4月	1日	消防無線設備を始良分遣所に配備する（受信機1台、携帯局2局） 始良分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置） 消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成10年	10月	13日	救急車1台を更新し中央消防署に配置する
平成11年	1月	22日	第4代管理者櫛山和實始良町長退任
平成11年	1月	29日	第5代管理者に福元久夫始良町長就任
平成11年	3月	30日	日本消防協会から救急車1台寄贈を受け始良分遣所に配置する
平成11年	4月	1日	消防緊急通信指令施設運用開始
平成11年	11月	15日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し始良分遣所に配置する
平成11年	11月	16日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成12年	3月	31日	第9代消防長猶木龍美退任
平成12年	4月	1日	第10代消防長に森田峯一就任
平成12年	10月	30日	訓練指導車1台を更新し消防本部警防課に配置する
平成13年	2月	15日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成13年	2月	16日	高規格救急車を1台購入し中央消防署に配置する
平成13年	4月	1日	救急救命士による高規格救急車運用開始 蒲生分遣所新築移転し消防業務を開始
平成13年	7月	19日	救助工作車1台、小型ポンプ付積載車1台を更新し中央消防署に配置する
平成13年	8月	16日	加治木ライオンズクラブから消防用ホース5本寄贈を受ける
平成14年	4月	1日	溝辺分遣所新築移転し消防業務を開始 消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成14年	11月	18日	小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成14年	12月	31日	消防吏員1人中途退職
平成15年	4月	1日	消防吏員2人採用（退職補充2人）
平成16年	9月	30日	消防吏員1人中途退職
平成16年	11月	1日	鹿児島郡吉田町が消防組合を脱退し鹿児島市と合併（消防吏員10人鹿児島市へ転出）
平成17年	3月	25日	資機材搬送車1台購入し中央消防署に配置する
平成17年	3月	31日	第10代消防長森田峯一退任
平成17年	4月	1日	第11代消防長に垂内猛志就任
平成17年	8月	19日	集団災害用エアーテント購入し中央消防署に配置する
平成17年	10月	19日	消防緊急通信指令施設で携帯電話119番直接受信開始
平成17年	11月	7日	始良郡溝辺町が消防組合を脱退し国分市、隼人町、牧園町、霧島町横川町及び福山町と合併し霧島市となる（消防吏員14人霧島市へ転出）
平成18年	3月	5日	第5代管理者福元久夫始良町長急逝
平成18年	3月	17日	高規格対応型救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成18年	5月	8日	第6代管理者に厚地和幸蒲生町長就任
平成18年	7月	28日	査察車1台を更新し消防本部予防課に配置する

年 月 日	概 要
平成18年10月24日	小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成19年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成19年 9月30日	消防吏員1人中途退職
平成19年10月31日	第11代消防長垂内猛志退任（始良町へ転出）
平成19年11月 1日	第12代消防長に池山史郎就任
平成19年12月20日	指揮車1台更新し中央消防署に配置する
平成20年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成21年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人）
平成21年 9月30日	第12代消防長池山史郎退任（始良町へ転出）
平成21年10月 1日	第13代消防長に宮原千年就任
平成21年12月31日	消防吏員1人中途退職
平成22年 1月15日	高規格救急自動車1台更新し始良分遣所に配置する
平成22年 3月22日	始良郡西部消防組合解散 (加治木町、始良町及び蒲生町の合併に伴い解散)

3 歴代消防長（始良郡西部消防組合消防本部）



初代 曾木 隆輝
自 昭和46年4月1日
至 昭和47年3月31日



2代 下猶 篤男
自 昭和47年4月1日
至 昭和49年12月31日



3代 坂元 満男
自 昭和50年1月1日
至 昭和53年3月31日



4代 右田 光男
自 昭和53年4月1日
至 昭和58年7月31日



5代 村岡 創造
自 昭和58年8月1日
至 昭和61年12月31日



6代 木場 政昭
自 昭和62年1月1日
至 昭和62年3月31日



7代 迫屋 清治
自 昭和62年4月1日
至 平成2年3月31日



8代 雨 乞 信
自 平成2年4月1日
至 平成9年3月31日



9代 猶木 龍美
自 平成9年4月1日
至 平成12年3月31日



10代 森田 峯一
自 平成12年4月1日
至 平成17年3月31日



11代 垂内 猛志
自 平成17年4月1日
至 平成19年10月31日



12代 池山 史郎
自 平成19年11月1日
至 平成21年9月30日